



2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月10日

上場会社名 株式会社 バナーズ
コード番号 3011 URL <http://www.banners.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 小林 由佳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 大内 修

TEL 048-523-2018

四半期報告書提出予定日 2021年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	854	26.3	14		8		4	
2021年3月期第1四半期	676	33.5	39		40		46	

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 5百万円 (%) 2021年3月期第1四半期 47百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	0.26	
2021年3月期第1四半期	2.79	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第1四半期	9,166	2,229	24.2	137.07
2021年3月期	9,279	2,256	24.2	138.80

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 2,217百万円 2021年3月期 2,245百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期				2.00	2.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	4,071	14.8	139	220.6	112	298.1	92	240.0	5.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期1Q	20,236,086 株	2021年3月期	20,236,086 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	4,061,453 株	2021年3月期	4,061,268 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期1Q	16,174,673 株	2021年3月期1Q	16,745,469 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増しております。

このような事業環境下におきまして、当社グループは全社を挙げて各事業の特性及び付加価値性を活かした事業活動を推進いたしました。

不動産利用事業におきましては、埼玉県本庄市の商業施設の再開発事業のうちの残り1棟の開発の対応を進めるとともに、新規投資案件の検討を随時行ってまいりました。新規投資物件の取得につきましては、これまでどおり案件ごとに収益性や潜在リスク等あらゆる角度から慎重に検討を行っており、当第1四半期連結累計期間におきましても複数の案件について検討を行いました。現時点で投資を決定した案件はありませんが、新型コロナウイルス感染症に関するリスクと市場の動向に注意を払いながら、引き続き賃貸用物件の取得に向けて検討をすすめてまいります。

自動車販売事業におきましては、在宅勤務が増加して民生用半導体需要が高まったことにより、車載向けの半導体が不足して新車の生産やカーナビ等の生産に影響が出ております。商談の際に納期等の状況を丁寧に説明して順調に契約を頂いておりますが、当第1四半期連結累計期間における受注につきましては納車が間に合わないものがあり、売上の回復までにはつながりませんでした。また2021年4月に中古車販売を目的とした「U-Select寄居」を移転開店いたしましたので、中古車売上高の増加が見込めます。販売費や一般管理費の削減とあわせて、業績向上に取り組んでまいります。

楽器販売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による演奏会やコンクールの中止及び学校の部活動や市民団体の活動自粛の影響が残り、厳しい経営環境が続いてはいるものの、楽器本体や消耗材であるリード及びリード製作関連商品の需要に回復の傾向が見られ、売上高は最初の緊急事態宣言が発出された前年同四半期を上回りました。さらに、市場ニーズに即した上質な商品を豊富に品揃えして、オンラインショップのさらなる拡充や各種キャンペーンを企画するとともに、万全なウイルス感染対策や顧客目線に立ったサービス提供により来店客数の増加を図り、業績回復に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高854百万円（前年同四半期比126.3%）、営業利益14百万円（前年同四半期は営業損失39百万円）、経常利益8百万円（前年同四半期は経常損失40百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益4百万円（前年同四半期は親会社に帰属する四半期純損失46百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①不動産利用

売上高は95百万円（前年同四半期比171.7%）、セグメント利益は65百万円（同160.7%）となりました。

②自動車販売

売上高は645百万円（前年同四半期比111.7%）、セグメント損失は24百万円（前年同四半期はセグメント損失15百万円）となりました。

③楽器販売

売上高は112百万円（前年同四半期比264.2%）、セグメント利益は4百万円（前年同四半期はセグメント損失20百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比113百万円減の9,166百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比86百万円減の6,936百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比27百万円減の2,229百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2021年5月13日の「2021年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,524,492	1,419,421
受取手形及び売掛金	80,195	63,538
商品及び製品	593,185	665,577
原材料及び貯蔵品	3,726	3,759
前渡金	250	250
前払費用	8,982	13,297
短期貸付金	30,066	30,066
その他	76,671	23,365
貸倒引当金	△1,958	△1,708
流動資産合計	2,315,611	2,217,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,106,950	4,135,969
減価償却累計額	△1,647,925	△1,678,565
建物及び構築物(純額)	2,459,025	2,457,403
機械装置及び運搬具	205,230	208,261
減価償却累計額	△69,097	△76,435
機械装置及び運搬具(純額)	136,133	131,826
工具、器具及び備品	73,858	75,018
減価償却累計額	△43,223	△44,817
工具、器具及び備品(純額)	30,635	30,200
土地	3,852,457	3,852,457
リース資産	43,725	46,144
減価償却累計額	△34,849	△35,383
リース資産(純額)	8,875	10,760
建設仮勘定	485	485
有形固定資産合計	6,487,613	6,483,134
無形固定資産		
投資その他の資産	2,991	2,884
投資有価証券	18,402	18,402
長期貸付金	387,471	387,454
繰延税金資産	41,783	40,306
その他	37,995	27,593
貸倒引当金	△11,949	△11,269
投資その他の資産合計	473,702	462,488
固定資産合計	6,964,307	6,948,507
資産合計	9,279,919	9,166,075

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	289,954	217,365
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	227,544	254,392
1年内返還予定の預り保証金	54,994	55,142
未払金	46,616	36,439
未払費用	24,950	25,143
未払法人税等	4,465	1,877
未払消費税等	17,075	11,092
賞与引当金	12,171	5,041
前受金	235,064	260,999
その他	22,136	27,069
流動負債合計	1,534,973	1,494,562
固定負債		
長期借入金	3,201,520	3,165,550
役員退職慰労引当金	14,030	14,819
退職給付に係る負債	90,116	92,393
預り保証金	1,360,644	1,346,803
長期前受収益	99,491	97,786
再評価に係る繰延税金負債	718,180	718,180
その他	4,704	6,762
固定負債合計	5,488,687	5,442,295
負債合計	7,023,661	6,936,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	307,370	307,370
資本剰余金	576,022	576,022
利益剰余金	439,876	411,789
自己株式	△717,735	△717,757
株主資本合計	605,534	577,424
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,639,601	1,639,601
その他の包括利益累計額合計	1,639,601	1,639,601
非支配株主持分	11,121	12,190
純資産合計	2,256,257	2,229,216
負債純資産合計	9,279,919	9,166,075

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
売上高	676,481	854,279
売上原価	521,866	640,502
売上総利益	154,615	213,776
販売費及び一般管理費	193,672	198,845
営業利益又は営業損失(△)	△39,057	14,931
営業外収益		
受取利息	1,682	1,535
受取配当金	75	45
その他	4,809	778
営業外収益合計	6,567	2,358
営業外費用		
支払利息	8,112	9,055
その他	104	222
営業外費用合計	8,216	9,278
経常利益又は経常損失(△)	△40,706	8,011
特別損失		
固定資産除却損	14,672	105
特別損失合計	14,672	105
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△55,379	7,906
法人税、住民税及び事業税	245	1,099
法人税等調整額	△8,287	1,476
法人税等合計	△8,042	2,575
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△47,336	5,330
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△588	1,068
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△46,748	4,262

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△47,336	5,330
四半期包括利益	△47,336	5,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△46,748	4,262
非支配株主に係る四半期包括利益	△588	1,068

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、四半期連結累計期間等に係る四半期連結財務諸表への影響はありません。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結累計期間等に係る四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	55,747	578,126	42,608	676,481	—	676,481
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,324	—	—	15,324	△15,324	—
計	71,071	578,126	42,608	691,806	△15,324	676,481
セグメント利益又は 損失(△)	40,976	△15,926	△20,526	4,523	△43,581	※ △39,057

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額△43,581千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※四半期連結損益計算書の営業損失

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	95,743	645,961	112,575	854,279	—	854,279
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,448	72	—	15,520	△15,520	—
計	111,191	646,033	112,575	869,800	△15,520	854,279
セグメント利益又は 損失(△)	65,854	△24,287	4,776	46,343	△31,412	※ 14,931

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額△31,412千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※四半期連結損益計算書の営業利益